

松山市教育会情報

発行所 松山市教育会
松山市祝谷町1-5-33
☎ 089-933-0354
発行者 田中務
編集 調査研究部

ごあいさつ



会 長
田 中 務



—昭和の芭蕉と呼ばれた男—
「ふるさと松山」挿絵より

この度、亀井会長の後を受け、会長職という大役を仰せつかることになりました。浅学菲才な私にとりましては、十分務まるかどうか不安ですが、一生懸命努力する所存ですので、会員の皆様の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

私は、この2年間、3区理事、調査研究部長をさせていただきました。数年前に「組織活性化検討委員会」が新たに提唱し、活動をスタートした取組について、皆様はどのように受け止めておられるでしょうか。私は、OB会員を講師に迎え、現職の若い先生方を対象にした「教育講座」や、研修やスポーツ活動等で支部・ブロック内・現職教員との交流を深める「地域ブロック活動」、また、「学校教育への協力」などの活動が少しずつ軌道に乗りつつあることを嬉しく思っております。今後、更に、これらの活動を皆様のお力で充実させ、現退一体の交流を深めつつ、会員の所属意識と仲間意識を高め、松山市教育の進展に少しでも寄与したいと願っています。

さて、どの支部でもそうだと思いますが、会員数の減少と会員の高齢化が活性化を図る上に、大きな課題となっているのではないのでしょうか。特に、会員数の減少という事態は組織にとって深刻な問題です。

以前、市教育会が実施したアンケート調査で、退職時に入会しない理由として、「組織にとらわれず、自由に生きたい。」「教育の世界から縁を切りたい。」「教育会から何のメリットも得られない。」などが挙げられていました。人は皆、自分なりの考え方や生き方を持つのは自然な事だと思います。しかし、私は何か寂しい気持ちがしました。

ご存知のように、ブータンという国は、9割の国民が「幸せ」であると感じている国で、「人間関係、隣人関係、家族関係の平和と交流」が重視されています。周りの人と繋がりをもち、お互いを思いやる関係ができていくことがブータンの国民にとって「幸せ」なのです。「幸せ」のイメージは人それぞれ違うとは思いますが、日本では従来、「お金、健康、家族」が「幸せ」の基準として重視されてきたように思います。しかし、東日本大震災後、改めて家族や友人、知人との繋がりの大切さが見直され、新しい幸福観が生まれつつあります。今後、日本人誰もが、ブータン人に近い感覚を取り戻し、「絆」重視の傾向を強めていって欲しいと願っています。同様に、市教育会も「絆」を重視し、組織を活性化していけば、次第に会員が増えてくると信じています。

平成23年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

1 会員構成

		平成23年度	平成22年度	増減	備考
正会員	現職	2,250名	2,258名	△8名	会費納入者数
	O B	1,118名	1,163名	△45名	
名誉会員 (OB)		19名	14名	5名	
準会員		4名	4名	0名	元会員家族
賛助会員 (PTA等)		21名	33名	△12名	
合計		3,412名	3,472名	△60名	

2 役員 (任期2年目・現職分役員を定期総会で補充選出)

会長	亀井 壽一	副会長	其田建一郎
副会長	関谷 芳郎	監事	久坂 文治
副会長	友澤 大身	監事	沖 幸治
副会長	烏谷 洋紀		

※理事・専門部員は省略

3 行事報告

月	日	行事名	概要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	26	会計監査	監査
4	26	役員会 (会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
5	10	第1回 理事会	総会資料の審議
5	17	総会役員打合せ会	総会運営の審議
5	21	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員改選 (全議案原案通り可決)
5	21	会費集金開始	納入期限 7月5日
6	10	第2回 理事会・専門部会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	24	囲碁大会	上級・中級・初級 (A・B) の級別を実施
8	4	教育研修会	「災害に強くなるための方策」
8	9	教育講座	学級経営 (石丸 淳先生)
8	12	教育講座	教職基礎研修 (金本 房夫先生)
8	18	日連教茨城大会	～8月19日 (つくば市国際会議場)
8	29	支部活動費支給	～9月12日
8	29	高齢者慶祝記念品配布	市内各支部へ配送
9	6	第3回 理事会	支部長会・まつやま教育フォーラム等運営審議
9	12	第1回 支部長会	行事計画・ブロック活動計画
9	20	教育功労者募集	登録募集の文書配布 [締め切り12月15日]
11	1	えひめ教育の日推進大会	
11	5	まつやま教育フォーラム23	えひめ教育の日関連事業 参加者120名
1	20	教育功労者推薦委員会	推薦者審議
2	10	第4回 理事会	本年度の反省・教育功労者の推薦審議
2	23	第2回 支部長会	本年度の反省・教育功労者の推薦・次年度の計画審議

4 主要行事及び専門部活動

(1) 「まつやま教育フォーラム23」

11月5日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事

- ア 開会式報賞者 (8名)
- イ 講演会 演題「あの戦争から遠く離れて」
講師 城戸 久枝 氏
(ノンフィクション作家)
城戸 幹 氏
(久枝氏実父)
- ウ 懇親会 参加者60名
(内、高齢慶祝者 10名 出席)

(2) 調査研究部

- ア 教育講座
 - (ア) 「実技研修講座」(学級経営)
8月9日(火曜日) 69名 出席
講師 元県総合教育センター教科教育部長
石丸 淳 氏
 - (イ) 「教職基礎研修講座」
8月12日(金曜日) 56名出席
講師 松山市教育委員会 教育委員長
金本 房夫 氏
- イ 会報「松山市教育会情報」
74号 (6月1日発行)
75号 (10月1日発行)
76号 (2月1日発行)
- ウ 「文教月報」執筆協力

(3) 福利厚生部

- ア 囲碁大会 …………… 7月24日(日曜日)
 - (ア) 参加者 21名
 - (イ) 成績 優勝 準優勝
(上級) 真部 明雄 氏 玉井 幹夫 氏
(中級) 馬嶋 治男 氏 橋 正年 氏
(初級) 山田 眞昭 氏 池永 公則 氏
- イ 文化講座
 - (ア) 俳句交換会 毎月 11名
講師 上原 勲 先生
講師 近藤 良郷 先生
 - (イ) ヨガ講座 月1回 (第2土曜日午後) 15名
講師 藤本 ヨガ学院の先生
 - (ウ) 大正琴講座 月2回 (第2、4水曜日)
9名 ※1回は自費
講師 井上多鶴子・永井美枝子 先生
 - (エ) 川柳教室 月1回 (第3水曜日) 18名
講師 関谷 省三 先生
- ウ 慶弔関係
 - (ア) 高齢慶祝者
傘寿 (本度中に満80歳を迎えられた方)
62名
白寿 (本度中に満99歳を迎えられた方)
1名
 - (イ) 教育功労者 (平成22年度分) 総会にて表彰
県表彰 京口 和雄 氏 (味噌)

市表彰 森貞 和雄 氏 (小野)
中須賀直人 氏 (内宮中)

- (ウ) 報賞者
(本会役員在任4年以上の退任者)
フォーラム(報賞式)にて表彰
OB会員 4名
現職会員 4名
- (エ) 現職表彰祝金該当者
- | | |
|--------------|----|
| 文部科学大臣教育者表彰 | 1名 |
| 文部科学大臣優秀教員表彰 | 2名 |
| 愛媛県優良教員表彰 | 6名 |
| 愛媛県教育選賞表彰 | 2名 |

(オ) 会員物故者
OB会員 37名
現職会員 3名

- (4) 対策部
教育研修会
8月4日(木曜日) ※市教研と共催で実施
講演 「災害に強くなるための方策」
講師 松山市消防局 防災対策課
災害対策指導監 烏生 幹雄 氏

平成24年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

1 活動方針

(1) 組織の活性化

- ・支部活動の充実・強化及び地域ブロック活動の推進
- ・現職会員とOB会員との連帯提携の緊密化
- ・本支部間の連絡の緊密化
- ・未加入者の入会促進と賛助会員の勧誘による組織の充実強化

(2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実

- ・調査研修活動の充実
- ・広報活動の充実
- ・現職会員の研修活動への支援強化（「教育講座」の充実）
- ・会員相互の親和連携の推進（懇親会の計画運営）

(3) 関係諸団体・地域社会との連携強化

- ・「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
- ・青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
- ・公民館等の社会教育活動との連携
- ・学校教育活動への協力と支援

2 事業計画

(1) えひめ教育の日記念「まつやま教育フォーラム24」11月3日(土曜日)

- ・開会式 開会式の中で、本会運営に貢献された役員の報賞を行う。
- ・講演会 教育講演会等（形式・内容等を検討中）
- ・懇親会 報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親を行う。

(2) 調査研究活動

- ・教育講座の開設 夏休みに2～3回程度
- ・松山市教育研究大会に対する援助・協力

- ・組織局（壮年・青年部）への研修補助
- ・日連教大会への参加（研修補助）
- ・会報「松山市教育会情報」の充実（年3回発行）
77号（6月1日発行）
78号（10月1日発行）
79号（2月1日発行）
- ・「文教月報」執筆協力

(3) 福利厚生活動

- ・各種同好グループの活動に対する育成援助
 - ア 囲碁大会の開催 7月22日(日曜日)
 - イ 俳句交換会 毎月
講師 上原 勲 先生
講師 近藤 良郷 先生
 - ウ ヨガ講座
月1回（第2土曜日午後）
講師 藤本ヨガ学院
（脇坂 恭子 先生）
 - エ 川柳教室 月1回（第3水曜日）
講師 関谷 省三 先生
- ・慶弔関係
 - ア 高齢慶祝者
傘寿（本年度中に満80歳になられる方） 46名
白寿（本年度中に満99歳になられる方） 3名
 - イ 物故者への弔慰（支部長と連携）

(4) 対策活動

- ・「教育研修大会」の企画・運営（市教研と共催）
- ・「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力
- ・教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進
- ・人材バンクの活用方法等について検討
- ・愛媛県教育会の公益法人化への対応について検討

平成24年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校名・支部名	出身役職名
会長	田中務	生石	〇 B
副会長	久坂文治	余土	〇 B
副会長	友澤大身	南中	市教研会長
副会長	菅野拓也	久米小	小学校長会長
副会長	其田建一郎	道後中	中学校長会長

OB

役職名	氏名	支部名	出身役職名
1 区理事	落合常章	東雲	〇 B
2 区理事	友岡宏次	素鷲	〇 B
3 区理事	山高吉仁	垣生	〇 B
4 区理事	田中勝	高浜	〇 B
5 区理事	片岡喜代見	みどり	〇 B
6 区理事	松田邦雄	湯築	〇 B
7 区理事	川本毅	荏原	〇 B
8 区理事	沖原功夫	福音	〇 B
9 区理事	横田勇三	北条	〇 B

現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名
理事	堀田優子	石井小	市教研副会長
理事	白潟康隆	三津浜中	市教研副会長
理事	渡邊恵理	五明小	市教研副会長
理事	吉本孝夫	久枝小	研究部長
理事	後藤陽三	桑原小	文化部長
理事	乗松秀樹	湯山小	法制対策部長
理事	道上修二	双葉小	情宣部長
理事	中尾順子	垣生小	編集部長
理事	徳永敏久	東雲小	福利厚生部長
専門部員	大淵和彦	興居島中	壮年部代表男
専門部員	岡田芳	河野小	壮年部代表女
専門部員	角田鉄平	三津浜中	青年部代表
専門部員	岩本正昭	余土小	事務職員部代表
専門部員	城本すみ江	立岩小	へき地部代表
専門部員	豊田文子	拓南中	養護教員部代表
専門部員	二宮聖子	堀江小	栄養職員部代表
専門部員	鈴木智光	清水小	小学校教頭会代表
専門部員	小林一郎	西中	中学校教頭会代表

役職名	氏名	学校名	市教研役職名
監事	垂水葉子	湯山	〇 B
監事	沖幸治	湯築小	市教研監事
事務局	龍田純孝	愛媛文教会館内	市教研事務局
	上松和子		

放課後 子ども教室

～事業概要や活動内容等のご紹介～

松山市では、放課後や休日等に学校の余裕教室や公民館等を活用し、地域の皆様のご協力をいただきながら、宿題・スポーツ・文化活動・交流活動等のさまざまな内容を取り入れた放課後子ども教室を実施しています。放課後等に子どもたちの安全・安心な居場所を確保するとともに、学校・家庭・地域が連携して支えることで、地域社会の中で子どもたちが健やかに育まれることを期待しています。

放課後子ども教室の概要について

- 【対象】 小学1年生～6年生 ※各教室で異なる場合あり
- 【場所】 小学校の余裕教室・特別教室や公民館などを利用
- 【日時】 平日は放課後～17時まで ※土・日・長期休業中も可
- 【費用】 基本的に無料 ※一部、年間傷害保険料や参加費あり
- 【内容】 各教室で特色ある内容を実施
- ・宿題や算数プリント学習 ・体験学習 ・昔遊び
 - ・工作教室 ・スポーツ ・実験教室 ・囲碁将棋等
- 【組織】 各教室で実行委員会を構成（地域の皆様を中心としたスタッフが運営）
- 【役割】 運営スタッフの役割
- （コーディネーター）各機関等との連絡調整や活動プログラムを作成する中心的役割
 - （学習アドバイザー）学習活動の指導
 - （安全管理員）子どもたちの安全管理・下校時の見守り
 - （事務・会計員）書類作成・会計全般
- 【開設校】 生石・久枝・五明・坂本・八坂・小野・北条・味生・石井・新玉・立岩・椿・中島・潮見・双葉・雄郡・たちばな・浅海
- ※平成24年4月1日現在



◆主にこんな効果が出ています

- ルールやきまりを守るようになった。
 - 学校に行くのが楽しくなった。
 - 自分で考えて遊ぶようになった。
- ※23年度保護者アンケートより抜粋



放課後子ども教室の広がりについて（実施状況）

年 度	19	20	21	22	23
全 国	6, 201	7, 736	8, 610	9, 197	9, 733
松 山 市	8	11	17	18	19

放課後子ども教室は、上記の実施状況のとおり、平成19年度の創設時から年々増加しており、全国的な広がりを見せています。安全・安心な居場所を確保することを前提に、幅広い活動によって、学習習慣の定着のほか、豊かな人間性や社会性を育む取組が期待されています。

（松山市教育委員会地域学習振興課）

文化講座紹介

―二十三年度会員の作品―

▲俳句交換会▼

柿一つ残して暮るる里の家

江戸 昌宏

さらさらと初雪舞ひて城はるか

大木フク子

あやとりの小さき手伸ばす炬燵かな

加藤 和子

卓袱台妻の仕事場春着縫ふ

小池 郁子

爛熟く一汁一菜有り合はせ

河野 博

想ひ出と中島みかん手渡され

白石 典子

石路の花ふたりで生きし六十年

大院 静子

廃校に残る記念樹小鳥来る

増元 晶尚

新樹光無音に薨めくものあり

三好 靖子

▲川柳講座▼

まっ白いパール喪服をあでやかに

鍋田 早速

青息吐息私の息は虹の色

柏井 正子

想定外の透ける眼鏡に明日を訊う

仙波 弘子

何をあくせく縄文杉を見てごらん

栗田 忠士

フルムーン絆深める旅に出る

姫田 祐輔

恐龍の背骨に挑む山ガール

岡本 恭子

そっくりでも造花は蝶をだませない

上田 千鳥

今朝も息してる幸せ老夫婦

上松 和子

くすぐり上手いい気にさせて騙す詐欺

団上 一夫

しわくちやの首にパールのネックレス

江戸 昌宏

平凡に見える家族にある絆

川口 博子

精一杯生きよう命有る限り

平松 照子

復興へ熱い絆で湧く勇氣

丹下 友和

忘れることで脳の破裂を防ぐ老い

関谷 省三

夢・紙芝居事業

松山市教育委員会地域学習振興課では、夢・紙芝居事業に取り組んでいます。この事業は、郷土の偉人や民話等を題材とした紙芝居を作成し、市内各地で紙芝居を上演することにより、郷土を身近に感じてもらい、郷土、地域を愛する心を醸成するとともに、子どものコミュニケーション能力の向上を図ります。

紙芝居の上演

道後放生園（毎月第2日曜）と坂の上の雲ミュージアム（毎月第3日曜）で上演しています。市内小中学校での読み聞かせも実施しています。

紙芝居の制作

郷土の偉人や地域に伝わる民話などを題材とした紙芝居を作成しています。

紙芝居講座の開催

紙芝居の作成支援や講師の方をお呼びしての講演会を行います。

紙芝居コンクール

アマチュアの方から作品を募り、コンクールを行います。ジュニアの部（小学生から中学生）と一般の部（高校生以上）を設けています。